

# よしの川

第58号  
2013年4月1日発行

 **放送大学**  
徳島学習センター

〒770-0855 徳島市新蔵町 2-24  
tel (088) 602-0151 fax (088) 602-0152



## 就任のご挨拶

徳島学習センター所長

大西 徳生

本年4月から中條信義前所長の後を受けて、放送大学徳島学習センターの所長としてお世話させていただくことになりました。就任にあたり自己紹介を兼ねてご挨拶を申し上げます。

昨年、BS放送チャンネルで興味ある番組内容が大変わかりやすく語られているのを見つけてから、度々視聴するようになったのが放送大学のテレビ講義でした。これだけの番組が自由に見られることに驚くとともに、何か得をした感じがしました。また、スマートフォンでラジオが聴けるアプリ(radiko.jp)を立ち上げると、放送大学の授業科目を大変クリアに聴くことができました。このように、一般の人でも放送番組が自由に見聞きすることができるようになっており、興味ある科目内容も多く、時間ができればゆっくり勉強したいと考えていたところ、皆様と一緒に学習できる機会が得られることとなり嬉しく思います。

私は3月まで徳島大学工学部の電気電子工学科で電気エネルギーを有効に活用する技術分野であるパワーエレクトロニクスを専門として教育研究活動を行ってきました。太陽光発電や電気自動車をテーマとして学生と一緒に『ものづくり』につながる研究活動を中心に楽しく過ごしてきました。一方、放送大学は教養教育が主ですので、直接的に『ものづくり』につながる工学分野とは違いますが、“知ること”、“発見すること”など、自ら学び探求することを通じての面白さを体感することができる点では共通しているものと感じております。

学習センターの役割は、皆さんが入学してから卒業するまでの学習環境の提供や単位認定試験の実施等の事務的なサポートだけでなく、面接授業の場を提供することにあります。在宅学習では十分な学習効果を上げることはできない科目や在宅では行えない科目(演習・実技)を

センターで受講することができます。また、学生同士の交流の場そして教員や事務職員との接触の場としての役割もあります。スクーリングを通じて放送番組だけでは得られない学習センターの先生や学生間の情報交換ができる点にも大きな役割と魅力があります。

放送大学徳島学習センターは、平成10年4月に開設され新年度で15年目を迎えます。初代河野清先生を筆頭に新谷義廣先生、中條信義先生はじめセンター職員の方々のご尽力により、大勢の皆様をお迎えして共に学べる素晴らしいセンターを築いてこられました。

昨年6月に文部科学省から「大学改革実行プラン」が出されました。急激な少子高齢化の進行、人口減少を受けて、大学の生涯学習機能の強化が謳われるようになり、放送大学は今後ますますその重要性が増してくるものと思います。

私は、工学部長として大学運営にも携わってきましたが、放送大学の学生は工学分野における学生とは人材育成環境や目標がかなり違うと思われる。このため、手探りの状態でスタートすることになると思いますが、学ぶ意欲の強い皆様を迎える学習センターが、より良い学習の場として充実発展できるように取り組んで行きたいと思います。

限られた時間の中で、時間を無駄遣いすることなく、いかに有効に有意義に活用するか、皆様と共に、『愛惜時間』の心で共に学びたいと思います。どうかよろしくお願い致します。

## 目次

|         |                 |
|---------|-----------------|
| p.2     | 退任のご挨拶          |
| p.3-5   | 卒業生/修了生紹介・メッセージ |
| p.5     | 卒業後の再入学と名誉学生の案内 |
| p.6     | 面接授業追加登録について    |
| p.7     | 通信指導について        |
| p.8-9   | 所長/客員教員の紹介・ゼミ案内 |
| p.10    | サークル案内          |
| p.11    | まなびの森講演会        |
| p.12    | 図書室だより          |
| p.13-14 | 事務室だより          |
| p.15    | 職員紹介            |
| p.16    | スケジュール(4月～6月)   |



# 退任のご挨拶



～退職にあたって～

所長 中條 信義

放送大学にお世話になって5年の歳月が過ぎようとしています。赴任当時を振り返りますと学生さん達にはもちろん、職員の方々にも多大のご迷惑をおかけしました。当初は、前職と全く違った職務内容と勤務体制に戸惑ったこともありましたが、しかし、学生さんや職員の方々のご協力、ご支援によって職務を何とか全うできるように育てていただいたと思っています。

さらに5年間の面接授業で出会った徳島大学、鳴門教育大学、徳島文理大学、四国大学の先生方は延べ200名にも上りますし、徳島県下の行政、教育機関、企業で働いておられる方々、さらには全国の学習センター所長と本部専任教員や本部職員との出会いは忘れることのできない財産となりました。多くの人々との交流は刺激的でしたし、新たな生き甲斐を見つけることにもなりました。

退職後は、放送大学に入学し勉強を始めます。学生さんと試験でも机を並べることとなりますので、どうかよろしくお願い申し上げます。ほんとうに長い間、お世話になりました。ここから深くお礼を申し上げます。

～退任のご挨拶～

客員准教授 福森 崇貴

先日、車の中でラジオを付けると、ザ・クロマニヨンズ（元THE BLUE HEARTS）の甲本ヒロトさんがゲストに招かれていました。うろ覚えではありますが、その中で彼が話していた、「僕たちの音楽は発信した時点では未完成で、聴く人がいて、その人が心の中でかたちにして初めて完成する」「受け手であるリスナーが自分たちの音楽を聴いてどう感じたか、それが自分たちの音楽の全て。僕たちがこんな風に聴いて欲しい、なんてコントロールすることはできない」という言葉が深く心に残りました。

このことは、彼らのやっているロックンロールという音楽だけではなく、私たちの「言葉」全般にも言えることかも知れません。こちらがどんなに聞こえの良い言葉を発したとしても、こちらがその言葉にどのような意図や欲求を乗せたとしても、それを受け取り、感じ、考え、体験するのはあくまで受け取る側です。ここには、言葉を発する側の限界が見えてきます。そしてまた、そのような限界を知らず知らずのうちに相手と接すればこそ、謙虚にもなれるし、同時に、相手との無益な衝突も減る気がするのです。

この徳島学習センターの客員教員となって、3年目が終わろうとしています。その間、学習相談、心理学ゼミ、面接授業、出張講義などを担当させていただきました。皆さんとのやりとりの中で私がこれまでに発してきた言葉が、どのようなかたちで皆さんに届いているかについては知る術もありません。ただ、私が皆さんの言葉から多くの刺激や示唆をいただいたように、私から発せられた言葉が、例えそれが私の本来の意図とは異なったところにあったとしても、皆さんの体験の中で何らかのかたちとなっていたとすれば、こんなに嬉しいことはありません。

勤務期間中、私を支えてくださったすべての学生および教職員の皆さまに深く感謝いたします。本当に有り難うございました。



中條所長には5年間、福森先生には3年間、それぞれ徳島学習センター運営、学習相談、面接授業、講演会などの様々な面でご尽力いただき、大変お世話になりました。これからの益々のご活躍をお祈り申し上げます。

# ご卒業おめでとうございます

平成24年度第2学期、徳島学習センターから30名が教養学部を卒業、3名が大学院を修了されました。新たに卒業/修了証書・学位記を授与された皆様に対し、センター職員一同、心よりお祝い申し上げます。

## 卒業生・修了生のご紹介

### <教養学部>

#### (旧専攻)

|        |         |         |
|--------|---------|---------|
| *生活と福祉 | 中田 拓史さん | 湯本 愛さん  |
| *発達と教育 | 長屋 恵子さん | 野口 真希さん |

#### (新専攻)

|        |          |          |          |
|--------|----------|----------|----------|
| *生活と福祉 | 大寺 加津子さん | 大戸井 祥二さん | 中原 里実さん  |
|        | 西村 淳子さん  | 福田 昌代さん  | 他4名      |
| *心理と教育 | 秋山 雅美さん  | 岩崎 琢哉さん  | 岩野 玲子さん  |
|        | 尾崎 亮太さん  | 工藤 純子さん  | 辻 明美さん   |
|        | 原 英美さん   | 横本 時子さん  | 安田 十寸穂さん |
|        |          |          | 他1名      |
| *社会と産業 | 赤澤 裕子さん  | 如月 真実さん  | 他1名      |
| *人間と文化 | 濱口 庸寿さん  | 森崎 洋子さん  |          |
| *自然と環境 | 1名       |          |          |

### <大学院>

|              |          |
|--------------|----------|
| *生活健康科学プログラム | 舟井 貴久子さん |
| *人間発達科学プログラム | 1名       |
| *文化情報学プログラム  | 並川 竜彦さん  |

(五十音順、掲載をご承諾いただけなかった方は記載を控えさせていただきました)

## 卒業生・修了生のみなさまからのメッセージ！

1973年夏、私は水産学科を再受験しようと決意しながら、甲斐駒から光まで南ア全山縦走をしていました。受験は失敗に終わりましたが、第二の人生ではこのとき選べなかった生物関係の道を歩きたいと思っています。2012年盛夏、卒業研究で吉野川の生物調査をしました。テーマの絞り込みに濱田先生の『科学的探求の方法』が参考になり、意欲もわきました。このままぶれずに研究を続け、小さな結果なりとも社会に還元するのが夢です。

自然と環境コース T.Kさん

仕事との両立は大変でしたが、学習により新たな知識を身につけることができ、よかったです。

匿名希望

家族や職場の協力と理解を受けて今日の日を迎えることができました。面接授業やテストなどを通じて、年齢を超えた友人や知人が増えたことは、私の財産です。学んだことを善知識として、これからも同苦の心を持って還元していきたいと思っています。

心理と教育コース 秋山 雅美さん



振り返ると、あっという間の2年間でした。放送大学を約10年前に卒業して以来、暖めていた「学び」のため、思い切って入学しました。

年代、社会的背景などが異なる方々との多くの出会いは、研究継続の原動力でした。試行錯誤の結果、何とか論文を完成できたことは大きな糧となりました。懇切丁寧なご指導をいただいた先生方をはじめ、お世話になった皆様に、この場をお借りして心よりお礼を申し上げます。

文化情報学プログラム 並川 竜彦さん

私は専業主婦で元看護師です。「学士」の称号を得る為、放送大学に編入学しました。在学中は、妊娠、出産、育児を経験しました。自分の生活サイクルに合わせて、自由に学ぶ喜びを感じる事ができました。

面接授業や学習センターのゼミの中で、学習仲間が出来、共に励まし合いながら、頑張る事が出来ました。履修を終える度に、挑戦した学習分野が増えて、新しい自分を発見できました。放送大学の先生方に、感謝します。

生活と福祉コース 西村 淳子さん



振り返ると4年間はあっという間に過ぎてゆきました。不安いっぱいでの入学、1年次1学期の履修数をみると、卒業までの道のりは果てしなく遠いものと更に不安に駆られました。私にとって単位認定試験、スクーリングレポートは大変な試練となりました。それでも性急な性格も手伝い、卒業要件単位は3ヶ年で修得に至り、この1年は試験やレポートから解放され、興味惹かれるスクーリングの受講など、最後の学生生活を楽しむことに努めました。スクーリングは四国四県、岡山などにも出向きましたが、各センター職員皆様の御配慮、御厚意には唯々感謝に堪えません。特に徳島学習センター職員の皆様には大変お世話になり本当に有難うございました。所長中條先生には苦言、不満を吐露し、事務スタッフの皆様には愚問ばかりを投げましたが快くご回答くださいました。卒業へのゴールは、職員皆様のご支援の賜と心より感謝申し上げます。私のような者に優しく声を掛けてくださいましたスクーリング同窓生の《東根さん、工藤さん》有難うございました。職員皆様のご健康と益々のご活躍を祈念いたします。

心理と教育コース 中村 政芳さん

「2年間で卒業する」と決めた目標を達成することができました。今では、卒業は簡単なものではないだろうと入学を迷っていた時間のほうが長かったです。この2年間は、勉強が楽しくあっという間だった気がします。

匿名希望

5年前に選科生に入学し、3年前に心理と教育コース全科生になりました。卒業研究をしたいと思い、研究内容から社会と産業に転コースして1年。初めての放送大学卒業です。「年金生活になるころには名誉学生になって、おトクに一生涯学習できるようにしておこう」と考えています。4月からは、心理と教育コースの学生として、2回目の卒業を目指します。学び続けますので、またよろしく願いいたします。

社会と産業コース 如月 真実さん

仕事の関係でどうしても大卒が必要となり、放送大学に入学しました。10年前に一度入学しようとしたことがありましたが、子供が小さく手がかかるため断念しました。入学して驚いたことは私より10歳も20歳も年上の方が勉強され続けていらっしやったことです。年をとっても学びたいという意欲にとっても刺激をうけ、一生学び続けていくという姿勢に頭がさがりました。私もその方々を見習い、一生学び続けていく人生を歩んでいきたいと思います。

無事予定通り、卒業出来ましたが、継続入学して更に学んでいきます。放送大学徳島学習センターの方々をはじめ協力してくださった上司や同僚、家族や友人に感謝いたします。ありがとうございました。

匿名希望

最初の大学院の単位認定試験、放送教材もテキストも完璧で臨んだが全く出来なかった。学部とのレベルの違いを痛感して辞めようかと思ったが、なんとか合格だったため継続した。修士を取得に向けて入学試験の準備をしたが、本当にしたい研究テーマがなかった。「研究計画書がしっかりしていないと落とされる」と中條信義先生はご自身の研究計画書を送って頂き励ましてくれた。何とか計画書を書き上げ、英語も1日最低2時間3ヵ月間行って受験した。しかし試験内容は完敗だった。それでも千葉への道は開かれた。ゼミ生は現役の教員がほとんどで認知心理学をよく勉強している人ばかりだった。戦々恐々としていたが、指導教授は想像以上にやさしく、細かい指示を出される方ではなかった。「自分の思うように研究をしない」という基本方針であったため、グラフの配置や統計手法といった細かい内容は問われなかった。批判的な指導がないことは幸いした。行き当たりばったりの研究内容だったが、レポートを仕上げていくうちに不思議と論文が出来上がっていった。130枚近い内容でまとまりがなく内容も不十分で口頭試問もさっぱりだった。今後はレポートや修士論文内容を見直して短報として学会発表を行う準備をしている。

なんとも締まらない院生であるが、学部時代から含めて8年間色々なイベントがあった。親の死、突然の急変、育児、職場の組織改変。地理的にも不利だった。徳島市まで下道往復4時間近くかかる。冬場の単位認定試験は積雪で朝5時に起きてJRで出向いたことや前泊して受験など厳しいものがあった。社会人であれば両親や子供の病気や仕事のトラブルなど突発的なことに遭遇することも多い。それでもなんとか成し遂げることができたのは家族や上司の理解と協力があったから。多くのご助言を頂いた中條信義先生と事務の皆様、人を引き付けない雰囲気にも関わらず優しい言葉で後押しをしてくれた学友の皆様に深謝申し上げます。

匿名希望



「私にもできるかなあ。」「大丈夫ですよ。」既に勉強しながら、色々な資格に挑戦している若い同僚に励まされ、放送大学に入学しました。放送大学は働きながら学べ、各都道府県に学習センターがあり、私の条件にぴったりでした。第3年次に編入し、自分の専門分野から学びはじめました。学ぶほどに面白くなり、文学、科学、薬学、情報など私にとって少し難しい分野にも挑戦しました。とても新鮮で、ワクワクしながら面接授業を受けました。また、受験生だった子供に勉強している親の姿を見せることができたことも良かったことの一つです。「大変やなあ、お母さん。」と声をかけてくれたりもしました。

思えばあっという間の3年間でした。私のワガママを許してくれた家族や徳島学習センターの職員の方々、すばらしい講師の先生方に感謝しています。お世話になり、ありがとうございました。機会があれば、また放送大学で学びたいと思います。

心理と教育コース 岩野 玲子さん

今回の生活と福祉コースでは、初めて卒業研究に取り組んだことが最大の思い出です。

放送大学で学んできたこととNPO活動でかかわってきた取り組みを見事に結合させることができ、なおかつその研究発表のために千葉市の大学本部を訪ねることができました。働きながらの研究は正直言って楽ではありませんでしたが、それだけにやり終えた後の達成感は大きなものでした。ご指導くださった本仲先生、中條センター所長はじめ、関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

4月からは社会と産業コースに移り、加えて修士選科生として初めての大学院科目に挑戦します。今後ともご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

生活と福祉コース 大戸井 祥二さん

途中、都合を合わせることができずに、面接授業へ出られなかったり、試験を受けられなかったりもしましたが無事卒業することができました。

私にとっての放送大学とは、子供の頃、ぼんやりと思い描いていた数多くの未だ知らないこと知ることができる場所でした。それは多種多様な受講科目以外にも、職種経歴が異なる様々な学友との交友も含めてのものでした。

放送大学に入学して本当に良かったです。ありがとうございました。

心理と教育コース 岩崎 琢哉さん

平成10年入学依頼16年間の長きに亘り大変お世話になりました。(学部、修士)

教育と心理コース 安田 十寸穂さん

## 卒業後の再入学について

本学を卒業された方が全科履修生に再入学をされた場合、新コースの第3年次入学(学士入学)となります。すでに修得された単位は通算されるため、新コースでの卒業要件は以下のようになります。なお、在学年限は最長6年間です。

**＜コースを卒業された方＞** 自コースの専門科目30単位(放送授業、面接授業いずれでもよい)を修得し、2年以上在学すること。

**＜専攻を卒業された方＞** 自コースの専門科目30単位に加え、基礎科目8単位と総合科目4単位を修得し、2年以上在学すること。

**※平成20年度以前に入学された場合**

新たに入学されたコースの専門科目、基礎科目及び総合科目を過去に修得されている場合は、その単位数についても再入学後の卒業要件単位数から差し引くことができます。

**※平成11年度以前入学された場合**

放送授業が94単位に満たない方は、再入学後、放送授業を94単位に不足する分の単位数を修得する必要があります。



## 放送大学名誉学生のご案内



放送大学名誉学生とは...

放送大学では、教養学部のすべてのコース(又は専攻)を卒業された全科履修生の方で、人物、学習態度が良好である方に対して、「放送大学名誉学生」の称号をお贈りしています。毎年3月にNHKホール(東京)にて行う学位記授与式において表彰し、下記の特典を設けています。

### 1. 名誉学生が受けられる提供の内容

- (1) 名誉学生証の発行
- (2) 学習センターの図書及び視聴覚教材の閲覧
- (3) 学習センター及び本部主催事業への参加
- (4) 学習センター及び本部発行の機関紙の提供
- (5) 面接授業の聴講(定員の都合などで聴講できない科目もあります。単位は認定されません。)
- (6) セミナーハウスの利用
- (7) 印刷教材の割引購入

### 2. 名誉学生が選科履修生又は科目履修生として入学される場合の学費の支援

入学料及び授業料の支援を行います。全額学費支払いの後、上限範囲内(1学期あたりの上限単位数は10単位分を限度)の半額を返還します。

注1) 情報コースへの全科履修生への再入学に関しては、入学料及び授業料の支援には該当しません。

注2) 情報コース設置に伴う放送大学名誉学生の付与の取扱いについて次のとおり経過措置を設けます。

5コース目の入学年度

① 2013年度第2学期入学までに入学される方→5コース卒業又は6コース卒業の名誉学生(選択)

② 2014年度第1学期から入学される方→6コース卒業の名誉学生

# 面接授業追加登録について



4月入学の新生・再入学生の方は在学生の科目登録後に空席のある科目について、「面接授業追加登録」という手続きにて面接授業の科目の登録を行なっていただきます。

## <平成25年度第1学期面接授業> (徳島学習センター開講分)

| 日程       | 科目名           | 日程       | 科目名             |
|----------|---------------|----------|-----------------|
| 4月20・21日 | 衣生活を科学する ★    | 6月8・9日   | スポーツを楽しむライフデザイン |
| 4月27・28日 | ドイツ文学と音楽 ★    |          | 環境問題のとらえ方と解決方法  |
|          | 健康問題と生活の再構築 ★ | 6月15・16日 | 情報時代の著作権法入門     |
| 5月11・12日 | ストレスと心理学      |          | 阿波の風土と年中行事      |
|          | 写真画像保存技術概論    | 6月29・30日 | 乳幼児の遊びと保育       |
| 5月18・19日 | 漢方薬と西洋薬       | 7月6・7日   | 入門 マイコンとメカトロニクス |
|          | 病弱者教育総論       | 7月13・14日 | 政治とマス・メディア      |
| 5月25・26日 | 教育文化史研究入門     |          | 臨床心理学実習         |
|          | 暮らしの中の色彩学     | 7月20・21日 | 社会人のための生活学      |
| 6月1・2日   | 災害時のための無線技術   |          | 現代経済と社会         |

(注)★印は追加登録できません。

\* 詳しい内容および科目区分等については「面接授業時間割表〔中国・四国ブロック版〕」をご覧ください。

## 空席状況の発表 : 4月18日(木)

空席状況は学習センター掲示板に掲示します。電話でもお気軽にお問い合わせください。

また、キャンパスネットワークホームページ(平成25年度第1学期面接授業 関係情報のページ)でお知らせします。それ以降4月25日(木)13時よりシステムWAKABAでリアルタイムで確認できます。

## 追加科目登録期間

科目ごとに定められた

【4月～7月開講の授業】: 4月24日(水) ～ 追加登録受付期限日(※)

(※)原則として科目ごとの追加登録受付期限日は、開講日の1週間前までとなります。

ただし、追加登録受付が間に合わない授業(上表★印)は追加登録できません。

【8月開講の授業】: 4月24日(水) ～ 7月21日(日)まで

\* 他センターで開講される講座等、各科目ごとの受付期限は、キャンパスネットワークホームページに掲載されますのでご確認ください。

## 申込方法

以下の①もしくは②の方法でお申し込みください。※お電話による申込みはできません。

### ①窓口での申請

学生証(コピー不可)を持参の上、授業料を添えて申請してください。(代理の方でも結構です。)

\* 空席数に対し希望者がオーバーする科目のみ、申請受付初日4/24(水)の午前10時までに来所の方を対象に徳島学習センター3階講義室にて抽選を行います。(例:空席が1席の科目に対し、3名が4/24(水)午前10時までに集まり頂いた場合、3名で抽選を行います。)抽選以降、空席のある場合は先着順にて受付を行います。

### ②郵送による申請

(1)面接授業科目追加登録申請書 (2)授業料(登録科目数×5,500円)

(3)返信用封筒(宛先明記、80円切手貼付) (4)学生証コピー

以上の4点を同封の上、現金書留により徳島学習センター宛にお送りください。

\* 郵送による申請の場合、受付は追加登録2日から受付期限日の閉所時までです。

期限内に郵便が届かなかった場合、また既に満席となった場合は登録をお受けできません。なお、希望者多数の場合は窓口申請を優先しますので、ご了承ください。登録できなかった科目の授業料は、返送に係る費用を差し引いた金額を返金します。



# 通信指導について



## 通信指導とは

放送および印刷教材によって行われる授業において、授業の一部として各学期の途中で1回、一定の範囲で出題され、その答案を提出して、担当教員の添削指導を受けることです。通信指導問題は、印刷教材と一緒に、別送で放送大学本部（千葉市）からご自宅に送付されます。**通信指導を提出しなければ単位認定試験の受験資格が得られませんので、必ず期限内に提出**してください。

★通信指導問題が5月8日（水）までに届かない場合は、大学本部（043-276-5111）へ連絡してください！

提出期間：

【郵送】5月20日（月）～6月4日（火）

【大学本部必着】

提出期限を過ぎて到着したものは受理できませんので、  
余裕を持って送付してください。



添削結果返送時期：2013年7月中旬

7月16日までに届かない場合は、大学本部へ連絡してください。

## Web通信指導について

- \* Web通信指導は、インターネット上で通信指導問題の提出・解説の閲覧ができるシステムです。  
対象は、択一式科目すべてと記述式・併用式については大学院の数科目です。
- \* 対象科目・受講方法の詳細は、キャンパス・ネットワーク・ホームページをご覧ください。
- \* Web通信指導で通信指導問題を提出（送信）した場合は、郵送による提出は不要（無効）となります。

\* Web通信指導による提出期間：5月13日（月）10:00～6月4日（火）17:00

【利用するパソコンおよびネットワーク環境に起因するトラブルにより提出が間に合わなかった場合でも、  
未提出扱いとなりますので、余裕を持って提出（送信）してください。】

\* 解答の正否やコメントは、解答送信後すぐに表示されます。

\* Web通信指導は何度でも解答できますが、評価は第1回目に送信されたもので行われます。

## 提出状況の確認

≪郵送による提出分≫

システムWAKABAの「履修成績照会」画面において、提出期限より概ね5日後までに、通信指導の欄が「受理」と表示されます。

≪Web通信指導による提出分≫

Web通信指導のTopページの画面において、提出（送信）後ただちに、科目名の横に「提出（送信）済み」と表示されます。システムWAKABAの「履修成績照会」画面において、提出期限より概ね5日後までに、通信指導の欄が「受理」と表示されます。

# 所長・客員教員のご紹介

① 専門分野 ② 学習相談(※)の日程

## 所 長

おおにし とくお  
**大西 徳生**

徳島大学名誉教授  
元徳島大学大学院ソシオテクノ  
サイエンス研究部教授

① **パワーエレクトロニクス**  
(半導体電力変換装置・電源および電動機駆動システム), 太陽光発電システムに関する研究)

② 毎週火曜日  
14:00～17:00

## 客員准教授

うちうみ ちぐさ  
**内海 千種**

徳島大学大学院ソシオ・アーツ・アント  
・サイエンス研究部准教授

① **臨床心理学**  
(災害・事件・事故後の精神健康についての調査研究)

② 毎週火曜日  
10:00～13:00

## 客員教授

たかはし しんいち  
**高橋 晋一**

徳島大学大学院ソシオ・アーツ・アント  
・サイエンス研究部教授

① **文化人類学・民俗学**  
(台湾漢族社会・華僑社会の文化研究、神戸南京町、徳島県内の祭りや民俗芸能など)

② 毎週火曜日  
13:00～16:00

## 客員准教授

おぐら まさよし  
**小倉 正義**

鳴門教育大学学校教育学部講師

① **発達臨床心理学**  
(発達障害、学校と家庭の連携、スクールカウンセリング、被援助志向性、強迫様行動など)

② 隔週水・金曜日  
15:30～18:30

## 客員教授

もとなか じゅんこ  
**本仲 純子**

元徳島大学大学院教授  
<2010年度日本分析化学学会  
功労賞受賞>

① **分析化学・環境化学**  
(コレステロール、尿酸、アミノ酸などの生体関連物質測定センサー作製など)

② 毎週木曜日  
10:00～13:00

## 客員准教授

みやた まさのり  
**宮田 政徳**

徳島大学大学開放実践センター  
准教授

① **英語学**  
(特に英語文体論)

② 毎週金曜日  
14:00～17:00

## 客員准教授

やべ たくや  
**矢部 拓也**

徳島大学大学院ソシオ・アーツ・アント  
・サイエンス研究部准教授

① **社会学**  
(都市再生、まちづくりなど)

② 毎週木曜日  
14:00～17:00

## (※) 学習相談

学習上の種々の相談(効果的な学習方法・履修科目の選択・履修計画・レポートのまとめ方など)について、所長および客員教員が直接相談に応じます。

学習相談の日程は先生方のご都合により変更となる場合がありますので、相談を希望される方は電話等で事務室までお問い合わせください。

## 卒業研究にチャレンジしませんか？

平成26年度に卒業研究の履修を検討されている方は、是非今から卒業研究の事前準備(テーマの決定、関連する参考文献を読むなど)を始めてください。  
(看護学士の取得を目指されている方は卒業研究をお勧めします！)

「卒業研究履修の手引き」は6月上旬頃から学習センターにて配布します。

また、学習センターでは「卒業研究履修ガイダンス」も実施する予定(日時は未定)ですので、興味のある方は、早めに事務室までお問い合わせください。

- 履修条件 全科履修生として2年以上在学し、62単位以上を修得した者(※特例者あり)
- 申請期間 平成25年8月中旬～平成25年8月下旬





# ゼミのご案内

平成25年度第1学期

| 曜日 | ゼミ名(担当教員)・日時                                                              | 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|----|---------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 火  | <b>心理学ゼミ</b><br>(内海 千種)<br>月1回 10:30~12:00                                | 受講生それぞれが関心をもっている心理学的テーマについて話題提供を行い、その内容について参加者全員で議論を行います。<br><b>【確定日】4/23</b>                                                                                                                                                                                      |
|    | <b>阿波の民俗をさぐる</b><br>(高橋 晋一)<br>月1回 第2火曜日<br>13:30~15:00                   | 県内各地の民俗文化(祭り、人形浄瑠璃や獅子舞などの芸能、四国遍路、年中行事、冠婚葬祭、伝説、衣食住など)の特色について学びます。講師の話の聞いたり、文献を読んだりするだけでなく、時には地域の方にお話を伺ったり、石造物を調べたり、行事を見学したりという「フィールドワーク」を取り入れ、阿波の民俗の面白さを「体験的に」考えていくことができたらと思います。<br><b>【確定日】4/9, 5/14, 6/11</b>                                                                                                                                        |
|    | <b>パワーエレクトロニクス技術の観点から環境・エネルギー問題を考える</b><br>(大西 徳生)<br>月1回 第3火曜日<br>14:00~ | 電気の歴史は100年程度ですが、今日の社会ではなくてならないものになりました。この電気エネルギーを有効に活用する技術分野がパワーエレクトロニクスです。パワーエレクトロニクスは、電気鉄道や電気自動車機駆動等において電気エネルギーを有効に活用するための『省エネ技術』として、また、風力発電や太陽光発電など自然エネルギーを発電する『創エネ技術』としても大変重要な役割を果たしています。<br>エネルギーの消費は環境問題につながります。今日のエネルギー消費の現状を踏まえて、CO <sub>2</sub> の低減など環境負荷を低減して、持続可能な社会を構築するためにどのような観点で取り組む必要があるか、パワーエレクトロニクス技術の観点から考えていきます。 <b>【確定日】4/16</b> |
| 木  | <b>身の回りの化学</b><br>(本仲 純子)<br>月1回 10:30~12:00                              | 身の回りで起こる様々な現象や私たちを取りまく多くの物質について、科学的な立場から口述します。<br><b>【確定日】4/11</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|    | <b>まちづくり</b><br>(矢部 拓也)<br>月1回 14:30~16:00                                | 前年度に引き続き「まちづくり」をテーマに、受講生の行っているまちづくり活動や、講師の話題提供をもとに、今後のまちづくりのあり方について議論を行います。まちづくり活動を実践している方は是非受講してください。<br><b>【確定日】4/11</b>                                                                                                                                                                                                                            |
| 金  | <b>「星の王子さま」を読む</b><br>(宮田 政徳)<br>毎週金曜 15:00~16:00                         | 「The Little Prince」(星の王子さま)を英語で読んでいきます。<br><b>【確定日】4/5, 4/12, 4/19, 4/26</b>                                                                                                                                                                                     |
|    | <b>発達臨床心理学ゼミ</b><br>(小倉 正義)<br>月1回 15:45~17:15                            | “こころ”とは何か?“こころ”のいろいろについて考えることができるようなゼミにしたいと思います。<br><b>【確定日】4/26, 5/24, 6/21, 7/19, 8/9, 9/13</b>                                                                                                                                                                                                                                                     |

★受講料は無料ですので、皆さんふるってご参加ください！

★ゼミの受講を希望される方は、事務室受付カウンターにある名簿に氏名を記入するかお電話・メールでお申込みください。(徳島学習センター Tel:088-602-0151, メールアドレス:toku-sc@ouj.ac.jp)

★不定期開催ゼミや日程が未定のものは事務室前の掲示板で確認していただくか、お電話にてご確認ください。



# サークルのご案内

## ちょんかけごまサークル



“ちょんかけごま”は世界一難しいと言われて  
いる空中で廻す珍しいコマです。400年の歴史を  
持つ熊本県の伝承文化ですが、放送大学客員  
教授をされた山本先生（熊本県出身・当サークル  
顧問・毎回熱心に指導頂いております）が徳  
島県で広められました。

サークルでは自分の技を磨くと共に、“ちょん  
かけごま”の普及活動にも力を入れております。

親しみ易いコマの遊びで、お子さまやお孫さ  
まとの楽しい時間に活用できます。

手作りのコマも用意しております。月に二度、  
公園で遊ぶのも気持ちの良いものです。フラッ  
と立ち寄ってください。

練習日 第2、第4水曜日

時 間 13:30～14:30

場 所 徳島中央公園

（雨の日は徳島学習センター講義室）

<申込み・問い合わせ>

東（あずま）

Tel: 090-9554-1950

## 放友～for you～会



放友会では学生個々の学習環境の向上と学  
生相互の親睦を深めることを目的として活動し  
ています。

例会は学習センター多目的室で月1回程度開  
催します。（日時は講義室入口横の掲示板でお  
知らせします。）自由参加ですので、興味のある  
方はどうぞお越し下さい。

また同時に、会の運営をサポートして下さる  
会員を募集しています。人とのつながりを求め  
たい方、勉強ばかりの大学生活に飽き足らない  
方、その他興味のある方の参加をお待ちしてい  
ます。

例 会 月1回程度（掲示板でお知らせします）

場 所 徳島学習センター多目的室

<問い合わせ> 事務室まで。

## カウンセリングを学ぶ会 『アイ・コンタクト』



愛・I・eye・逢い…貴方はどんな『アイ』を思い  
浮かべますか？

本会『アイ・コンタクト』は、日常生活の中で活  
かせるカウンセリング技術の習得と向上を目的  
にこの春スタートしたサークルです。年6回ほど  
の学習会や研修会を企画しています。

研修内容の性質上、①現在精神科や心療内  
科等で治療を受けていないこと、②学習会で個  
人的に知り得たことを守秘できること、の2点が  
参加の条件です。

関心をお持ちの方は下記までご連絡下さい。

日 時 4/3(水)、6/5(水) 15:00～17:00

場 所 徳島学習センター講義室

年会費 3,000円（初回に徴収いたします）

年度途中入会の方はお問い合わせください。

<申込み・問い合わせ>

保岡（やすおか）

メール: mtkiio0114@ezweb.ne.jp



## アロマサークル



香りは五感の中で唯一本能行動を司る大脳  
辺縁系に直接働きかける事ができる感覚器で  
す。そんな香りの力を借りて元気に学生生活を  
楽しみましょう。

基本的な植物の香りの学習から始めて、バス  
ソルトや化粧品も手作りしちゃいましょう。

香りから始まって情報交換や学友の輪を拡げ  
ていくきっかけになればと思っています。

参加希望の方は事務室前の参加申込書に必  
要事項を記入して下さい。

変更・連絡事項は、すべて掲示板にて行います。

開催日 毎月1回 日曜日 14:00～16:00

場 所 徳島学習センター講義室

<申込み・問い合わせ>

徳田（とくだ）

Tel: 090-7146-1498

メール: fiorendorosa@onyx.ocn.ne.jp

参加費無料!

# 「まなびの森」講演会のご案内

徳島学習センターでは徳島県立図書館と連携・協力して、徳島県における生涯学習を支援するための「まなびの森事業」を開始し、その一環として月1回講演会を開催しています。

- 場 所 徳島県立図書館 3階 集会室1 (県立文化の森総合公園内)
- 定 員 各60名(定員になり次第、締め切ります。)
- 時 間 午後1時～午後3時
- 申込方法 講演会開催日1ヶ月前～前日までに徳島学習センター窓口へ



まなびー徳島

お申し込みください。電話での申込みも受け付けます。(Tel:088-602-0151)

## 【4月～6月の講演予定】

| 日 程 / 演 題 / 講 師                                                                                                                                                    | 講 演 内 容                                                                                                                                                                                                 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4月13日(土)<br><br><b>霊山寺創建時代の民衆及び<br/>行政の実態</b><br><br>【講師】沖野 勝徳<br>(とくしま学博士)<br> | 近年は映画やドラマで「四国遍路」が取り上げられ、今日の健康ブーム等により歩き遍路が増えている。これらにより「四国遍路」を世界遺産に登録申請する動きが脚光を浴びている所以でもあります。本講演では「1番さん」と呼ばれる「四国88ヶ所巡礼」の「霊山寺」を中心として、霊山寺創建時代の地域的、時代的背景から当時の集落の実態及び阿波と都との交流や行政組織などを通じて、私なりの歴史観を述べたいと思っています。 |
| 5月11日(土)<br><br><b>老後を楽しく過ごす</b><br><br>【講師】古川 明美<br>(徳島文理大学・教授)                                                                                                   | 『老いる』ことは、人生最大の課題であり、長寿大国となった今、老いを楽しく過ごすためには、からだどころが健康であること、老後の設計対策については、自分自身に合った生活スタイルを考える必要がある。それには、住まい、健康、介護、資金、終末期に対して、今、何をどのように準備し、どのような設計対策をすればよいかについてそのヒントとなるものをお話し、皆様とともに考えていきたいと思っています。         |
| 6月15日(土)<br><br><b>郡町(在方町)辻口について</b><br><br>【講師】湯藤 章皓<br>(とくしま学博士)                                                                                                 | 徳島藩では農商分離の政策をとっていた。藩は、しばしば郡町における諸商売に禁止令を出した。辻口の商人は数度にわたって商売を許して欲しいとの嘆願書を出し、その都度許可されてきた。嘆願書から読み取れる、辻口の商人の郷町に対する対抗心と、辻町の商業の発展は農村が貨幣経済の仕組みの中に組み込まれていく過程と軌を一にしている様子を読み取りたい。                                 |



# 図書室だより



## 視聴学習室の利用時間および利用案内

|     |             |
|-----|-------------|
| 火～金 | 10:00～18:30 |
| 土・日 | 9:30～18:00  |

※月曜・祝日はお休み

※新学期はじめは1～5巻くらいまでの貸出が集中します。

できるだけ多くの方が視聴できるように、返却日を守ってください！

(貸出期限は1週間です。)

※視聴学習室・多目的室にロッカーを用意しております。視聴学習室へは学習に必要なもの以外の持ち込みは控えていただき、ロッカーの利用をお願いいたします。

なお、ロッカーは使用時に100円硬貨が必要ですが、使用後に返金されます。

※視聴学習室内にインターネット接続のできるパソコンを設置しております。

ご利用希望の方は、カウンターに学生証を提示してお申し込みください。

なお、パソコンを利用するにはID・パスワードが必要です。

ログインID: 学生番号(数字10桁)

初期パスワード: 西暦の生年月日(数字8桁)



## センター外視聴施設ご利用の方へ

遠隔地の学生の便宜を図るため、美馬市と美波町のご厚意によりセンター外視聴施設が設置されています。各施設での視聴学習のほか、貸出も行っておりますのでご利用ください。利用に際しては、係の方に学生証を提示し「室内貸出受付簿」もしくは「室外貸出受付簿」に記入をお願いします。

★センター外視聴施設には利用者より申請のあった科目の教材のみを配架しています。

利用を希望される方は、履修登録した科目を学習センター事務室まで早めにお申し込みください！

※美馬市美馬福祉センター 月曜日～金曜日(休館日:毎週土曜日・日曜日、祝日)

＜利用時間＞午前9時～午後5時 ※視聴の場合、受付は午後4時まで

※美波町日和佐図書・資料館 火曜日～日曜日(休館日:毎週月曜日、祝日)

＜利用時間＞午前10時～午後6時 ※土日は午後5時まで



## 返却ポストをご利用ください。

閉館時間でも放送教材や図書を返却できるよう、返却ポストを設置しています。なお、投函された教材の返却日は、ポストを開けた日の前開館日となります。(施設に入れなない場合は、施設裏にある放送大学のポストに入れてください。)

＜設置場所＞視聴学習・図書室の入口前

＜返却方法＞

○放送教材…放送教材と貸出証を必ずクッション袋に入れて投函してください。

○図 書…図書に貸出証を挟んでそのまま投函してください。



## 室外貸出の巻数が変わります。

平成25年4月2日(火)から室外貸出の巻数が**1回3巻**に変わります。

貸出期間、室内での利用巻数は従来通りです。引き続き返却期限を守ったご利用をお願いいたします。



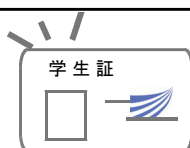
**延滞の時の罰則も変わります。延滞した日数分だけ貸出停止になります。**

(詳細は「利用の手引き」p.6～8を参照してください。)



# 事務室だより

## 学生証



### ＜入学生・有効期限切れの方＞

新入生の方は本部から送られてくる入学許可書、継続入学の方は入学許可書もしくは古い学生証と引き替えに学習センター**事務室で必ず新しい学生証を受け取ってください。**

全科履修生・修士全科生の学生証の**有効期限は2年間**です。(在学生の学生証の**更新は有効期限が切れてから期限の切れた学生証と交換**となります。更新をお忘れないように事務室までお越しください。)

## 住所を変更する場合

(電話番号変更も含む)

入学後に「現住所」「連絡先の電話番号」等を変更された時は、速やかに『住所等変更届』を所属学習センターへ提出する(システムWAKABAでも届出可)とともに、「現住所」の変更は、最寄の郵便局にも「転居届」を提出してください。

(注意)

通信制大学にとっては、郵便は「命綱」のようなものです。宅配を利用する場合もございますので、**変更があった場合は卒業間際であっても必ず所属学習センターに届出**を行ってください。



## 駐輪場について

徳島学習センターのある日亜会館の建物の**玄関前には自転車・バイクを置かないでください。**

駐輪場は、日亜会館建物の南側(裏側)にあります。



## 学生旅客運賃割引証(学割証等)の発行

### ■対象

全科履修生・修士全科生



### ■交通機関

- ① 学生割引普通乗車券(乗車券)  
JRの片道区間100kmを超える場合
- ② 一般普通回数乗車券(回数券)  
JRの片道区間200km以内の場合  
・・・上記の乗車券は2割引となります。
- ③ 徳島バス・徳島市バス・小松島市バス(定期券)

### ■利用範囲

- ・面接授業の受講
- ・単位認定試験の受験
- ・所属学習センターでの視聴学習・図書室の利用
- ・卒業研究の調査
- ・学校行事への参加など申請用紙に**具体的な使用目的を明記、及びそれを証明する書類を提出する必要があります。**詳しくは事務室まで。

## 駐車場について



徳島大学本部駐車場は主に平日は空きが無い状況です。**来所されるときはできる限り公共交通機関等を利用してください。**なお、土・日曜日には駐車できる状況です。駐車場利用の方には「駐車許可証」(無料)を発行いたしますが、駐車スペースは限られていることをご理解ください。

**路上駐車は厳禁です！また、日亜会館建物の南側の花壇の前は、絶対に駐車しないでください！**

### ★「駐車許可証」の申請について

駐車場利用は土・日曜日のみで通学距離が片道4kmを超える方に限らせていただきます。

申請書には**車両登録番号と車種**を正確に記入してください。(おおよその通学距離もご記入いただけます)  
(例: 徳島300 あ 1111, トヨタ カローラ)

### ★「駐車許可証」の掲示について

駐車の際は「駐車許可証」を外から見えるフロントに**必ず置いておいてください！**  
(移動をお願いする際に連絡をとるため)

# 事務室だより



## 単位認定試験問題・解答等の公表について

2012年度第1学期と2学期の単位認定試験問題(全科目)と解答(一部)又は解答のポイント等は、下記の期限迄キャンパスネットワークホームページ(※)と学習センターで公開しています。

(※)「キャンパスネットワークホームページ」→「単位認定試験問題・解答等の公表」をクリック。また、本部では郵送サービスも実施します。詳しくは「学生生活の葉」教養学部P74,大学院P55をご覧ください。

### 単位認定試験問題(全科目)

2012年度第1学期 公表期限:2013年8月6日(火)迄

2012年度第2学期 公表期限:2014年2月4日(火)迄

### 単位認定試験解答又は解答のポイント等

2012年度第1学期 公表期限:2013年8月20日(火)迄

2012年度第2学期 公表期限:2014年2月21日(金)迄

(注)キャンパスネットワークホームページに掲載されている試験問題等を学習センターに備え付けられているパソコンから印刷することはできません。

## 単位認定試験問題・解答等の撮影について

現在、図書・視聴学習室にて公開している単位認定試験問題および解答・解答のポイント等については、コピーはできませんが、デジタルカメラや携帯電話での撮影はできます。

### <手順>

- ①撮影したいファイルを図書室の受付カウンターに提出し、利用者名簿に記入する。
- ②手続終了後、3階ラウンジおよび多目的室で閲覧・撮影する。
- ③終了後、受付カウンターへファイルを返却する。



### <注意事項>

- ・撮影は1度に1冊ずつです。
- ・デジタルカメラや携帯電話の操作方法等の質問にはお答えできませんので、各自で責任を持って取り扱ってください。
- ・単位認定試験前などはたくさんの利用が予想されます。撮影を希望される方は、できるだけ前もってお越しください。

## 気象警報が「徳島県徳島市」に発令された場合の閉所について

台風や豪雨・大雪などの際、徳島学習センターの開所・閉所は以下の基準に従います。

- (1)午前8時に【暴風警報と大雨警報】もしくは【暴風警報と洪水警報】または【大雪警報】が発令中の場合は、午後2時まで閉所とします。
- (2)午後1時に上記の警報が発令中の場合は、終日閉所とします。
- (3)開所後に上記の警報が発令された場合は、状況に応じて閉所とします。

学習センターの開所・閉所は「徳島市」に上記の気象警報が発令されているかどうか、で判断します。その他お住まいの地域の気象状況によっては、個々の判断にお任せします。

## 学生研修旅行の行き先募集について

徳島学習センターでは、毎年秋(9~11月)に学生研修旅行を実施しています。

皆さんの希望の場所へ行ければと思いますので、①他の学生さんにも知って欲しい場所、②今まで知らなかったことを学んだり体験できる施設など、お勧めの場所があれば是非教えてください！ただし、日帰りで行ける場所をお願いします。

また、開催日程についても希望があればお寄せください。

### <過去(5年)の行き先>

- |        |                             |
|--------|-----------------------------|
| 平成20年度 | 京都・滋賀方面(石山寺、源氏物語ミュージアム、平等院) |
| 平成21年度 | 奈良・和歌山方面(橿原神宮、金峯山寺、清洲の里)    |
| 平成22年度 | 奈良県(平城遷都1300年祭、東大寺、奈良公園)    |
| 平成23年度 | 広島県(歴史遺産の町“鞆の浦”と尾道、千光寺)     |
| 平成24年度 | 京都府(京都市市民防災センター、京都水族館)      |



## 職員の紹介

徳島学習センターでは、4月1日付で職員の異動がありました。

センター所長の中條信義先生、客員准教授の福森崇貴先生、事務職員の鎌田英夫さん、齋藤梨沙さん、竹内亜由美さんが退職され、新たにセンター所長に大西徳生先生、客員准教授に内海千種先生、事務職員に村田和生さん、佐藤陽子さん、杉本佐知子さんを迎えます。

心機一転、職員一同、頑張って参りますので、よろしくお願いいたします！

|         |                        |
|---------|------------------------|
| 所 長     | おおにし とくお<br>大西 徳生 (新任) |
| 客 員 教 授 | たかはし しんいち<br>高橋 晋一     |
| 〃       | もとなか じゅんこ<br>本仲 純子     |
| 客員准教授   | うちうみ ちぐさ<br>内海 千種 (新任) |
| 〃       | おぐら まさよし<br>小倉 正義      |
| 〃       | みやた まさのり<br>宮田 政徳      |
| 〃       | やべ たくや<br>矢部 拓也        |

|         |                         |
|---------|-------------------------|
| 事 務 長   | たなか よしふみ<br>田中 善文       |
| 事 務 職 員 | むらた かずお<br>村田 和生 (新任)   |
| 〃       | えんどう えみ<br>遠藤 恵美        |
| 〃       | さとう ようこ<br>佐藤 陽子 (新任)   |
| 〃       | すぎもと さちこ<br>杉本 佐知子 (新任) |
| 〃       | ふじわら みか<br>藤原 美香        |
| 〃       | かわしま えいこ<br>川島 鋭子       |

## 退任のご挨拶

平成20年4月から5年間お世話になりました。学生の皆様や教職員の方々のお陰で楽しく勤務することができました。学生の皆様の学習を通して互いに教え合い、励まし合って学ぶ楽しさや喜びを周囲に広げている姿に大いに啓発されました。思い出は美しく、心に残ることを思います。

事務職員 鎌田 英夫

学生の皆様の学習意欲の高さに触発され、私事です放送授業「初級簿記(10)」を受講後に過去問題を一通りやり、日商簿記検定3級を取得しました。

勉強と仕事や家庭を両立させるとなると1科目でも大変だということに、皆様はどれだけ努力されているのか想像するといつも頭が下がる思いでした。

また、勉強にくじけそうな時も、皆様の目標に向かって突き進む姿や学ぶことを楽しんでいる姿を拝見し、私も頑張らなくては！とやる気と元気をたくさん頂きました。

刺激的な3年間でいただき、本当にありがとうございました。

今後ますますご活躍されますことを心よりお祈りいたします。

事務職員 齋藤 梨沙

1年弱という非常に短い期間でしたが、学生の皆様ならびに教職員の皆様には大変お世話になりました。至らない点が多く、ご迷惑をおかけしましたことをこの場を借りてお詫び申し上げます。

日々ひたむきに頑張る学生の皆様を目の当たりにし、「学びに期限はない。あるとしたら、自ら学ぶことをやめた時だ。」ということを実感しました。この経験を糧に今後も仕事と家事育児、勉強の両立を頑張っていきたいと思います。ありがとうございました。

事務職員 竹内 亜由美

### 編集後記

この春、徳島学習センターでは大学院を含む33名の卒業生を送り出すことができました。改めまして、ご卒業おめでとうございます。

また、新しく入学された皆さまには、ご入学おめでとうございます。

教職員も5名が入れ替わりますが、これからも皆さまが学習をしやすい環境を作っていくように努力してまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

今回、原稿をお寄せ頂いた方々、お忙しい中ありがとうございました。







# スケジュール

は休業日です。

## 4月

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
|    | 1  | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  |
| 7  | 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 13 |
| 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
| 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 |
| 28 | 29 | 30 |    |    |    |    |

- 4月 7日（日） 平成25年度第1学期入学者の集い  
 13日（土） 「まなびの森」講演会  
 18日（木） 面接授業空席発表  
 20・21日（土・日） 面接授業（福井先生）  
 24日（水） 面接授業追加登録開始  
 27・28日（土・日） 面接授業（井戸先生、市原先生）  
 29日（月） 昭和の日（閉所日）

- 5月 1日（月） 夏季集中型科目出願・科目登録開始  
 （看護師資格取得に資する科目・学校図書館司書教諭講習）  
 3日（金） 憲法記念日（閉所日）  
 4日（土） みどりの日（閉所日）  
 5日（日） こどもの日（閉所日）  
 11日（土） 「まなびの森」講演会  
 11・12日（土・日） 面接授業（内田先生、石井先生）  
 13日（月） Web通信指導提出開始  
 （5月13日10:00～6月4日17:00）  
 18・19日（土・日） 面接授業（橋本先生、島先生）  
 20日（月） （郵送）通信指導提出開始（～6月4日）  
 25・26日（土・日） 面接授業（梶井先生、蔵本先生）  
 31日（金） 所属変更届・所属コース変更願（2学期から変更分）、単位認定試験受験センター変更願（今学期限り）（郵送）提出期限（本部必着）

## 5月



| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
|    |    |    | 1  | 2  | 3  | 4  |
| 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |    |

## 6月



| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
|    |    |    |    |    |    | 1  |
| 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  |
| 9  | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 |
| 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |
| 30 |    |    |    |    |    |    |

- 6月 1日（土） 平成25年度第2学期 学部・大学院（修士選科・科目）Web出願受付開始  
 1・2日（土・日） 面接授業（上野先生）  
 4日（火） （郵送）通信指導提出期限（本部必着）Web通信指導提出期限（17:00まで）  
 7日（金） 単位認定試験受験センター変更願（今学期限り）システムWAKABA 提出期限  
 8・9日（土・日） 面接授業（佐藤先生、岡田先生）  
 14日（金） 所属変更届・所属コース変更願（2学期から変更分）システムWAKABA 提出期限  
 15日（土） 「まなびの森」講演会  
 15日（土） 平成25年度第2学期 学部・大学院（修士選科・科目）郵送出願受付開始  
 15・16日（土・日） 面接授業（尾崎先生、高橋先生）  
 29・30日（土・日） 面接授業（塩路先生）